

葉や茎は、ミカンのような柑橘系の香りがある。

< 植物名 >

ボローニア
ヘテロフィラ

水やり

乾燥を特に嫌うので、土の表面が乾いたら水やりをする。

置き場所

日当たりの良い場所を好む。夏は日除け、初冬から春は温室に入れてあげる。

用土肥料

水はけの良い土を好む。

植え替え

鉢の場合は根が張り過ぎないように、早目に植え替える。

ふやし方

挿し木

冬越し

特記事項なし。

使い方 鉢植え

学名 Boronia heterophylla

英名 kalgan boronia, pink boronia

属名 ボローニア

科名 ミカン

性状(分類) 常緑低木

原産地 オーストラリア

花の色 ピンク~紫

開花期 春

購入時期

草丈 ~ 200 cm

ID 13

季節 春

JFコード 29336



冬越しと置き場所

日当たりと水はけの良い場所を好む。暑さ寒さには弱いので、夏は日除け、初冬から春は温室に入れてあげると良い。基本的には日当たりの良い場所で育てる。

その他の解説

根が弱いので、鉢の場合は根が張り過ぎないように、早目に植え替える。

特徴1

乾燥を特に嫌うので、土の表面が乾いたら水やりをする。

特徴2

オーストラリア特有の低木で約70種あるといわれ、鉢植えや切花で出回っているのは、日本でも栽培されているヘテロフィラ(スズランに似た鐘状の小花を咲かせる)が多い。茎や葉は、ミカンのような柑橘系の香りがあり、香料の原料にもなっている。